



# 枯れ木に花を

—阿知の藤よみがえる—

あちのふじ応援団 会長 龍治昇

倉敷市美観地区にある阿知神社の境内に「阿知の藤」があります。推定樹齢三〇〇年以上のアケボノフジで、我が国最古の藤であり、県の天然記念物に指定されています。また、藤の花は倉敷市の市花でもあります。

最近この藤は樹勢が衰え、枯死寸前になりました。そこで、この阿知の藤に今一度美しい花をよみがえらせようと、一昨年末、市民有志の間で「あちのふじ応援団」が結成されました。応援団は阿知の藤の健全な育成をはかり、悠久の樹命を保つために必要な諸活動を行うことを目的としています。

応援団の最初の活動として、一回剪定作業を行い、剪定したつるを利用した一輪挿しやかご細工の作成講習会を開いたり、毎年五月初めごろふじ祭り実行委員会によって行われるふじ祭りの協賛をしたりしています。また、機関紙



治療が成功し、花が咲いた阿知の藤

「あちのふじ応援団」の名称は、地元東小学校の児童たちによって名づけられ、また、藤の木には「ふじみちゃん」の愛称がつけられました。

あちのふじ応援団は、毎年一回剪定作業を行い、剪定したつるを利用した一輪挿しやかご細工の作成講習会を開いたり、毎年五月初めごろふじ祭り実行委員会によって行われるふじ祭りの協賛をしたりしています。また、機関紙

## 第十八回教育・文化講演会 「文化を大切に 社会をめざして」

—岡山の文化の創造・継承・発展—

一月二十五日、ベネッセコーポレーション本社の大ホールで恒例の講演会が開催され、約二百名の参加がありました。講師をお願いした岡山県副知事大西珠枝先生は、文化庁での豊かな経験を基に、「古いものを継承していくこと」と「新しいものを創造していくこ

「あちの藤だより」の発刊、「自然あれこれホット・ホットゼミナール」の開催等を通して、地域社会に対して資料や出版物を提供したり、緑化思想の普及啓発に関する事業を行ったりにしています。

阿知の藤は私たち共通の生きた宝物です、この藤に對し熱き想いを抱いた市民有志が結成した「あちのふじ応援団」に入会いただき、支援の輪を広げ、次世代に無事パトントッチする運動にご協力をお願いいたします。

## 編集後記

新年度を迎え、自然の香りあふれる季節となりました。

今回の記事の中には「古民家の再生」や「阿知の藤の治療」などがありますが、目まぐる

- 今後の行事予定 ●
- 教育助成募集締切り 五月六日まで
- 文化贈呈式 六月二十七日
- 教育贈呈式 七月十三日



「社会をめざして」の講演会  
岡山県副知事 大西珠枝

と」の重要性を強調されました。「文化財保護法」に相對するものとしての「文化芸術基本法」が制定されるまでのエピソードなど、興味深いお話もありましたが、特に、岡山県は、文化活動や資源（吉備の

文化遺産や備前焼、多くの特色ある美術館など）が非常に豊かであることに言及され、これらを継承していくとともに、新しい文化を創造・振興していくことの大切さ、更には積極的に他県にもアピールしていくことの必要性を説かれました。

参加者は講師の多角的な視点からの体験的な話題にふれ、改めて岡山県の誇る文化への認識を深めることができました。（渡辺）

# 不 易

## 福武教育奨励賞を受賞して

おかやま山陽高等学校 教諭 山本 茂



このたび栄えある福武教育奨励賞をいただき大変光栄に思っています。今まであまり立ち止まって考えることがなかったのですが、今回の受賞により、周りの人に感謝するとともに、あらためてものづくりについて考えることができました。

若者たちのものづくり離れが言われて久しくなりますが、「ものづくり」は、日常の生活をしていく中で、何か困ったことが起きた時に、それを克服しようとする工夫と努力から始まると思います。ところが、最近の生徒たちは、子ど



2002岡山県高等学校ゼロハン大会

第15号  
平成15年4月1日  
（財）福武教育振興財団  
（財）福武文化振興財団  
〒700-0807  
岡山市南方3-7-17  
TEL.086-221-5254  
FAX.086-232-3190  
http://www.fukutake.or.jp/  
制作 (株) 吉備人

もの時からできあがったおもちゃやゲームで遊び、壊れたり古くなったりとすぐ新しい物に買い替えるので、生活の中でも困るということがなく、何も考えず、何もしなくても普通の生活ができるという状況の中で育っています。

そのような時、高等学校では生徒の自己教育力の育成を図る目的で「課題研究」という科目ができ、その中で、エンジンや載せた手づくりの車が、各校で作られるようになりまし。一昨年度の岡山県工業教育協会機械系部会で、同一規格で手づくりの車を作り、完成度の高さを競うためのレースを行いました。生徒たちは、車を作る過程でさまざまな工夫をし、忍耐強く仲間と協力し合い、一緒に物を

「町民が自主運営し、町民手づくりのミュージカルをつくろう」を合言葉に、真備町ゆかりの偉人「吉備真備」をテーマに取り上げ、脚本制作・作詞作曲・衣装・道具・小道具の製作・ヘアメイク等、多くの町民の方々に協力をいただいた。また、素晴らしい舞台めざして出演者とスタッフが両輪となり、



いざゆけ！ 唐へ

「素晴らしい舞台練習に耐えがねばったよ！またやってね」と観客の皆様からのねぎらいの言葉に「よかった。」と胸をなでおろす。出演者、スタッフの満足そうな笑顔がまぶしい。

思えば平成十二年三月に発起人会を結成し、組織づくりや資金づくりと、幾多の障害を乗り越えるなか、福武文化振興財団から平成十四年度の助成が決定し、活動の大きな励みとなり、今日の日を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。

「町民が自主運営し、町民手づくりのミュージカルをつくろう」を合言葉に、真備町ゆかりの偉人「吉備真備」をテーマに取り上げ、脚本制作・作詞作曲・衣装・道具・小道具の製作・ヘアメイク等、多くの町民の方々に協力をいただいた。また、素晴らしい舞台めざして出演者とスタッフが両輪となり、

## 町民ミュージカル 「天平の星く吉備真備」の旗揚げ公演に助成を受けて

真備町町民ミュージカルを創る会 代表 守屋 榮子

「素晴らしい舞台練習に耐えがねばったよ！またやってね」と観客の皆様からのねぎらいの言葉に「よかった。」と胸をなでおろす。出演者、スタッフの満足そうな笑顔がまぶしい。

思えば平成十二年三月に発起人会を結成し、組織づくりや資金づくりと、幾多の障害を乗り越えるなか、福武文化振興財団から平成十四年度の助成が決定し、活動の大きな励みとなり、今日の日を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。

「福武文化賞」受賞に寄せて 古民家再生工房

古民家再生工房が発足したのは一九八八年、ちょうど瀬戸大橋が開通した年です。日本はバブル経済の真っ只中にあり、多くの民家が開発の波を受けて壊され、美しい田舎の風景も失われていました。



古民家再生工房のメンバー

観が随分と変わってきました。右肩上がりの成長が期待できなくなり、停滞型の経済になると、壊しては造るという発想からの転換が必要になってきました。

金ではなく、心の豊かさを求めるようになってきました。再生は単なる保存や修復とは異なり、古いものを現代に生かし、新しい価値を生み出し、過去を未来に繋げる創造的な行為です。

このような我々の考えや活動に対して「福武文化賞」という大きな賞をいただけただことを幸運に思います。

福武教育振興財団 平成十五年度 事業計画と主な変更点

福武教育振興財団は平成十五年度も左の表のように、表彰や助成などの様々な事業を行い、岡山県の教育振興の一端を担いたいと考えております。

また、昨年度から、事業内容を見直すために教育懇話会を設けて、助成事業の改善を進めてきました。

- 1. 表彰事業 (1)福武哲彦教育賞 (2)谷口澄夫教育奨励賞
2. 助成事業 (1)教育研究助成 (2)図書助成 (3)教育研究大会等助成 (4)英語研修助成 (5)指定研究助成 (6)特定教育事業助成
3. 調査研究事業 (1)海外教育事情調査 (2)県内教育事情調査
4. 広報・啓発事業 (1)教育・文化講演会 (2)教育研究発表 (3)その他シンポジウム等
5. 調査・報告書等の発刊 要覧 表彰 助成の記録 教育研究叢書 海外教育事情調査報告書 年報 不易 (財団広報誌)

は、個人又は小グループへの助成を縮小して、学校単位への助成枠を拡大します。また、学校を支援する地域の文化団体などの活動も対象にします。



インソップの寓話に「アリとキリギリス」の話がある。アリは夏から秋にかけて、来るべき冬にそなえて、休むことなくせっせと汗水流して働き、食糧を蓄えていった。

キリギリスにとっては大変本意な書かれかたで心外に思っているところであろうが、これは教訓の話としての物語である。



岡山県高等学校長協会 会長 海本 博允

ことをやり、今を楽しめばよい。余計なことなど考えたくないという態度である。

今、こうした子どもたちが

増えてきているなか、「生きる力」の育成が重要な課題となっている。動物の親は、産まれてきた子どもを外敵から身を守りながら、せつせとエサを運び、育てていく。

助成の募集について

平成十五年度 福武教育振興財団 一 教育研究助成 岡山県下の学校の先生方などの教育関係者や保護者の方々に対象に助成します。

二 図書助成 例年通り、岡山県下の学校等を対象に、上限二十五万円を助成します。

三 研究大会等助成 岡山県下の教育研究大会等の開催に加え、地域社会の教育発展に有意義な実践活動等も対象に助成します。

四 図書助成 例年通り、岡山県下の学校等を対象に、上限二十五万円を助成します。

福武文化振興財団 平成十五年度 事業計画 表彰事業

一 福武文化賞 県内の文化向上に著しく貢献した個人・団体に贈ります。二 福武文化奨励賞 県内の文化向上に著しい貢献が期待される個人・団体に贈ります。

一 文化関係助成 文化の振興と地域の活性化に資するため、伝統的な文化の継承・発展、現代的な文化の創造にかかわる活動や調査研究に対し助成します。

二 指定文化財保全助成 国、県指定の重要文化財保全のための費用を助成します。

三 文化発表会助成 岡山県郷土芸能振興会が行う「郷土芸能フェスティバル」に助成します。

四 特定文化事業助成 地域の文化振興に特に有益と認められる記念的な文化事業に対して助成します。

その他 伝統文化を振興するための事業に対する助成、調査研究、講演会や広報誌の出版なども予定しております。(野間)